

今回のコンサートにあたって

3月11日の東日本大震災で、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、被災地の皆様に心からお見舞い申し上げます。

松本克巳は、大阪府立池田高校の出身です。ひたすらヴァイオリンを弾きたいという思いで、高校教師から日本フィルハーモニー交響楽団に入団し、昨年30周年を迎えました。音楽を通して常に自分に何が出来るのかと問い続けている彼の姿は、多くの人たちの心をつかみ勇気を与えています。コンサートホールでの演奏にとどまらず、阪神大震災後の支援コンサート、オーム真理教により殺害された坂本弁護士一家の救出活動、追悼コンサート、新潟県中越地震被災地コンサート等々、音楽を通して幅広く活動を行ってきました。

原発事故の影響で、一時来日が危ぶまれていたアラン・ペルシオ(vi)、ベッセラ・ペロフスカ(p)夫妻は、パリ・オペラ座で活躍中の素晴らしい演奏家です。来日の際は、様々な施設でのボランティア演奏や、被災地での演奏を積極的に行ない、多くのファンが各地で再訪を心待ちにしています。『今回の被災地は、今までに何度も演奏に訪れた場所だけに心が痛みます。ただ、少しでも私たちの演奏が復興支援、被災された皆さんの生きる力になりますよう力を尽くしたいと思います。』と、夫妻からのメッセージが届きました。

松本克巳が青春期を過ごしたゆかりの地で、そしてアラン夫妻の演奏を関西の方々にもお届けしたいとの思いからこのコンサート企画は出発しました。温かく賛同協力いただいた地元の皆様に感謝の言葉は尽きません。

音楽は、癒しや喜び、勇気と希望、生きる力の大きな助けになると信じています。8月6日は広島平和記念日。音楽を通して平和への願いと、被災地の方々には心から復興の祈りを届けたいと思っています。

より多くの方々のご来場をお待ちしています。

愛とヒューマンのコンサート委員会

演奏者プロフィール



松本克巳 ヴァイオリン

大阪府立池田高校卒
関西学院理学部遺伝子学専攻卒業後、高校教師となるが退職してプロを目指す。日本フィルハーモニー交響楽団に合格するまでの苦闘は語り草となっている。コンサートホールにとどまらない裾野の広い演奏活動は、特筆される。昨年で入団30年、音楽になにが出来るかを問いながら、全国を駆け巡る。



アラン・ペルシオ(Alain Persiaux) ヴァイオリン

1980年ベルサイユ音楽院を経てパリ音楽院入学。卒業後、バリ弦楽合奏団、フランス室内交響楽団などを経て1990年フランス国立パリオペラ座楽団に入団。この間ルーブル ターコイン ベルサイユ各音楽院で教授を歴任。妻であるベッセラ・ペロフスカとの競演は特に評判を呼んでいる。



ベッセラ・ペロフスカ(Vessela Pelovska) ピアノ

ブルガリア国立ソフィア音楽院からバリヨーロッパ音楽院を経て、99年フランス国立パリオペラ座楽団に迎えられている。92年イタリアのマラザデルバロコンクールで優勝。98年クロイツァートリオの一員としてCZIFLA財団より優勝冠を得る等、国際的に活躍。オペラ座の花形ピアニストである。



相馬泉美 ピアノ

東京音楽大学ピアノ科卒業。1993年より、東京・津田ホール、カザルスホール、東京オペラシティ他各地でリサイタル開催。CD「ふたつの舟歌」は好評を得ている。また、CD『ヴァイオリンと薔薇のロマンス』のピアノ伴奏他、松本克巳と数々の共演を行なっている。現在、東京音楽大学ピアノ科非常勤講師。

この関西ツアーの後、8月10日～13日は、東日本大震災の被災地へ訪問コンサートに向かいます。ご支援お願いいたします。

愛とヒューマンのコンサート委員会

今野 強 坂戸市緑町7-12 TEL&FAX 049-289-2852

携帯：090-3519-6610 又は、090-3694-8115 メール：i-human@nifty.com